

## 運 営 推 進 委 員 会 会 議 録

事業者名 名称：社会福祉法人 浦幌町社会福祉協議会  
住所：十勝郡浦幌町字北町 8 番地 1

事業所名 名称：通所介護センターうらほろ  
住所：十勝郡浦幌町字北町 8 番地 1  
サービス種類：認知症対応型通所介護

日時 令和 1 年 9 月 20 日(水) 第 5 回 18 : 00 ~ 18 : 30

場所 浦幌町保健福祉センター 会議室

出席	利用者ご家族	██████████様
	地域住民代表	安藤 忠司様
	地域包括支援センター所長	志賀 裕子様
	社会福祉協議会事務局長	佐藤 勇人
	ケアプランセンターうらほろ主任	唐澤 隆則
	通所介護センターうらほろ管理者	横田 道子
	通所介護センターうらほろ生活相談員	立花 容子

### 議題

#### ① 挨拶

司会進行担当の横田管理者は、本日の参加を謝し、佐藤事務局長より委嘱状をお渡しする旨を説明。佐藤事務局長は、出席された委員の方一人ずつに委嘱状をお渡しした。横田管理者は再度佐藤事務局長に挨拶を要請。佐藤事務局長は、委員の皆様へ出席を謝し、本委員会では当該事業所による地域に開かれた事業運営の確保と、サービスの質の向上を図ることを目的として設置されている事を説明し、開会の挨拶とした。

#### ② 運営推進委員会構成委員、職員自己紹介

横田管理者より、今年度より構成委員が変更になった旨を説明し、委員の皆様から

自己紹介をお願いした。

### ③ 利用者の状況について

横田管理者は、8月現在の利用者曜日別男女別数、及び介護度別利用者数を説明。

月曜日 8名、男2名女6名      火曜日 8名、男3名女5名  
水曜日 9名、男5名女4名      木曜日 8名、男3名女5名  
金曜日 8名、男2名女6名

介護度 → ・1、6名 ・2、8名 ・3、4名 ・4、1名 ・5、1名

《地域住民代表安藤様》

介護度5の方というのはどのくらいの利用者なんですか？

《唐澤ケアマネ》

車椅子へは乗れますが、自宅ではほぼ寝ている状況です。

### ④ ヒヤリハット、事故等の報告及び防止に向けた対応策について

横田管理者はヒヤリハット、及び事故報告と対応策について説明。

(別紙参照)

《地域包括支援センター志賀様》

① についてなんですが、事故の対策としては基本中の基本であって、人員の配置の事もあるとは思いますが、ドアロックするだけではなくて見守りの強化を考えていてほしいと思います。

《横田管理者》

基本はヘルパー2人で対応していますが、この時は1人で対応した為、今後も2人での対応をしていきたいと思っています。

《佐藤事務局長》

運転手がおりますので、その時の状況にもよりますが、運転手+ヘルパーという形で送迎していきたいと思っています。

《地域包括支援センター志賀様》

こちらのデイサービスは認知症の方を扱っているわけで、予測の立たないことが起こる可能性もあるわけですね、事故が起きてからでは遅いので、人員の配置の問題はあるとは思いますが、配慮していただきたいと思っています。

⑤ 前回の質問事項について

横田管理者は第4回運営推進会議にて上がった質問事項について回答した。

避難訓練に関して、国の基準はどのようなになっているのですか？

→国の基準は年2回となっています。年1回は保健福祉課の避難訓練に参加しているのですが、今後ふれあい独自で訓練の内容を決め、事務局長とも相談中ではありますが実施方法を検討中です。

今年のゴールデンウィークは10連休ですが、デイサービスは開設しないのですか？→今回、国や道からの通達もあり、5月1日に開設いたしました。今後は都度、事務局長と相談していききたいと思います。

《利用者ご家族荒木様》

避難訓練に関してなんですが、利用者が仮に8人だとしたら、ヘルパーさんは何人くらいいるんですか？

《横田管理者》

5～6人くらいでみています。

《利用者ご家族荒木様》

それなら避難するとき1～2人に対して1人のヘルパーさんがつけるわけですね。ちなみに避難はどこからするんですか？

《横田管理者》

ふれあいデイルームの中に出口が1つ、廊下を出てすぐにも避難口があります。

《地域包括支援センター志賀様》

避難経路についてですが、デイルーム前に車椅子を置いているんですが、見ていると置き方が乱雑なようですね。あのような状態では避難するのに時間がかかると思います。さらにあの場所は共有の所なので、保健福祉センターのお客様も利用するわけです。なので、整理整頓を心掛けて欲しいのと、車椅子をすぐ取りに行けるように置く場所を考えてほしいと思います。

《横田管理者》

気をつけていきます。

## ⑥ 質疑応答

横田管理者は、最後に質問・意見等を受け付けた。

《地域住民安藤様》

運転手さんって現在は何人くらいいるんですか？

《佐藤事務局長》

専属では2名ですが、福祉有償運送事業も兼任しています。不在の場合は、職員で対応しています。

《地域包括支援センター志賀様》

去年の10月の会議で救命講習を受けたほうがいいのでは？と話が出ましたが、今年は何名ほど参加したんですか？

《横田管理者》

今年は2名参加いたしました。

## ⑦ 閉会

横田管理者は、会議の参加を謝し、今年度より構成委員が変更になったために、閉会後にふれあい内を案内したい旨を説明し、閉会とした。

#### 4 ヒヤリハット、事故等の報告及び防止に向けた対応策について

- ① 送迎中、右折待ちをしていた際、自宅が近くなってきたためか、利用者が車のドアを開けようとしてしまった。ドアに鍵が掛っていたため、ドアは開かなかった。送迎時、利用者が1人の場合、ヘルパーが1人で運転し、送迎する場合もある為、対応策が必要。

対応策→今後もドアロックをし、様子観察をする。

結果→他利用者を含め、このような行動は見受けられなかった。

- ② 利用者を自宅に送り、帰ろうとした際、自宅外にてご家族に呼び止められた為、お話ししていたところ、「ドーン！」と大きな音がした。見ると、本人の姿はなく、車椅子だけが玄関に倒れていた。本人が車椅子から立ち上がり、2mほど前にあるソファに移動していた。転倒の危険性も考えられる為対応策が必要。

対応策→ご家族とお話する前に、本人にソファへ座ってもらい、見守りをしながら、1日の様子をお話する。本人の前で伝えづらい場合は電話で伝える。

結果→現在はこのような事はない。

- ③ 送り時、利用者の自宅前にて、家の鍵が無いことに気が付き、本人のポケット等を探すが見当たらず。鍵はズボンのポケットに入れていたが、落ちてしまったと思われる。結果、迎え時の車の中に落ちていた。ヘルパーの確認不足だったと思われる為、対応策が必要。カバンの持参はない。

対応策→落としやすいズボンのポケットではなく、上着の胸ポケットに入れても  
らうよう声掛けし、必ず見守りを行う。帰宅時も鍵が胸ポケットに入  
っているか確認を忘れない。

結果→鍵を落す事はなくなった。

- ④ デイサービス終了し、玄関にて靴を履いてもらおうとしたところ、靴がないことに気が付く。お昼までの利用者と靴を間違えて、ヘルパーが履かせてしまった。

対応策→利用者の靴には名札がついている為、似たような靴でも必ず名札を  
確認することを徹底する。

結果→現在、靴を間違える事はなくなった。

- ⑤ トイレ誘導後のデイルームにて、杖歩行の利用者の足元がふらつき横座りするように、左側に転倒してしまった。職員が本人の右側にいたが支えることが出来なかった。

対応策→利用者の動きをしっかり見てふらついた時にしっかり支えられ  
る様に介助する。

結果→転倒なく過ごされている。

- ⑥ 脱衣場にて体重を計る為、手すりに掴まり、車椅子から立ち上がっても ちっていたが、立位が保てず、ヘルパーが支えていたが、支えきれず、床に腰を下ろしてしまった。

対応策→無理をせず2人で介助する。

結果→2人介助にすることで、転倒事故は起きていない。

- ⑦ 浴室から脱衣場に入る時、床が濡れていたために利用者の足が滑り、ヘルパーが支えていたが、支えきれず、床に臀部がついてしまった。

対応策→脱衣場にゴムマットを使用し、その上にバスマットを敷く。

こまめに床を拭く。足元に気を付けてもらうよう声掛けする。

結果→同じような転倒事故は起きていない。